

【中学校】第1学年・数学科「文字を用いた式」

ねらい：図から読み取った情報を基に規則性を見付け、文字を使った式で表現することができる。

活用のポイント

- ・ 拡大提示された本時の課題に関連する図に着目することで、考える視点が明確になり、考察に集中することができる。
- ・ 書き込みや削除が容易なため、試行錯誤しながら、いろいろな考え方を文字を使った式で表現することができる。



機能：書き込み、大型提示装置による拡大表示、ネットワーク環境による共有

■ 学習活動例（太字がデジタル教科書の主な活用場面）

ねらい・期待される効果等

	活動内容	学習者用デジタル教科書の活用例
導入	<p>一斉 課題の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 下の図のように、正方形を作るときの棒の本数を求める式について考える。 	
	<p>個別 解法の考察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 四角形が x 個の時のマッチ棒の数を、x を使った式でどう表せるか考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習者用デジタル教科書の図に、線等を書き込み、自分の考えを整理する。
展開	<p>グループ 話し合い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 書き込んだ学習者用デジタル教科書の画面を見せ合い、自他の考えについて話し合う。 ・ 新たな視点の考えを追加して書き込む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習者用デジタル教科書への書き込みをスクリーンショットで記録し、シートに貼り付けたうえで、学習支援ソフトを活用して提出する。
	<p>一斉 考えの共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学級一斉で考え方と式を共有し、思考の過程や視点の違いを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提出されたシートを指導者用コンピュータで集約し、考えを共有する例示として大型提示装置に提示する。
まとめ	<p>個別 適用問題 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 適用問題に取り組む。 ・ 本時の学習について、振り返りを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 互いの考えの共通点や相違点を分類、整理しやすい。（生徒）